

冷却循環水処理事例



業 界	製鉄工場	圧 力	0.3MPa
設 置 機 種	MCFM306XLP	洗 浄 頻 度	10～20分毎に差圧起動
用 途	圧延工程でのスプレーノズル目詰まり防止	洗 浄 排 水 量	約200l/回×2台
流 量	250m ³ /時	水 源	圧延工程での冷却循環水
ろ 過 精 度	50ミクロン	設 置 台 数	2台並列

コメント:

当工場では、圧延工程における冷却循環水吐出用のスプレーノズル保護用に砂ろ過装置を設置・運用していたが、メンテナンスコスト・ろ過精度の安定確保の点において問題があった。そこで、フィルトマツト自動洗浄式ろ過装置の設置検討を行い、デモ機(MCFM型)によるテストを行った結果、原水SS濃度150ppm(油分60ppm、鉄粉60～80ppm)がろ過後はSS濃度30ppm(油分10ppm、鉄粉20ppm)まで安定的に低減可能なことが確認され、また、ろ材交換の頻度が5～10年程度とランニングコストがほとんど掛からず、砂ろ過装置と比較しても油分・経年劣化などに起因するろ過精度への悪影響がほとんど無いことから、総合的に高い評価を頂き正式採用されることとなった。